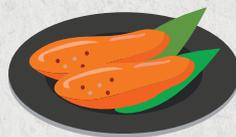
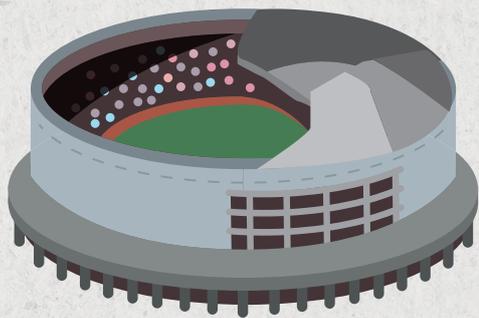




2025年4月-9月



CONTENTS

半期活動レポート（2025年4月-9月）

- P. 01 > Fukuoka Smart City Communityについて
- P. 02 > 進捗のご報告
- ① 福岡大学附属大濠中学校と協働したキャリア教育の取組
 - 社会課題解決型PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)へ発展した職場訪問
 - ▶ PBLの流れ
- P. 03 > ① 企業からの課題提示
② 課題理解・分析ワーク
- P. 04 > ③ 企業訪問
企業ごとの実施内容
P. 05
P. 06
- P. 07 > ② より良い福岡の未来作りのための課題抽出・検討ワークショップ
- 新制度施行を見据えた自転車の乗車マナー向上施策の検討 (FSC×チャリチャリ)
 - 学校と地域社会の共創型教育を目指すプロジェクト検討 (FSC×LX DESIGN×Eduporte)
- P. 08 > 定例での活動について
- ▶ 全体会議(毎月1回)
 - ▶ 「プロジェクトF」

Fukuoka Smart City Community について

次の100年も、みんなで福岡をつくるんだ

これまでの100年で、福岡は大きく成長を遂げました。

まちに誇りを持ち、よりよくするための声を唱えてきた市民、
暮らしの基盤となるサービスを生み出してきた企業、
自治体や学校も、みんなでつくってきたのが今の福岡です。

私たちFukuoka Smart City Communityは
次の100年もそうであって欲しいと願い、
みんながまちづくりに携わる場や機会をつくります。

日々、多くの市民と接する企業が集まる多様なコミュニティだからこそ、
今後ますます複雑化するまちのニーズに丁寧に向き合いたい。

デジタルに限定しない解決策をみんなとともに考え、解決していくことで、
福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献します。

私たちが大切にすること

市民のニーズをもとに、 持続的な地域社会貢献に 取り組む

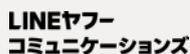
福岡に根ざす企業・自治体(オブザーバー)
の共同事業体として、市民の納得・満足を
追求しながら活動し続けます。

自治体/企業/市民の セクショナリズムを超える

異なる専門知識やスキル、バックグラ
ウンドを持った企業が組織や役割を超え
てより高い価値を提供します。

抽象的な議論より具体的な アウトプットを重視する

各企業のアセット活用などデジタルに
限定しない柔軟なアイデアで、市民のため
にできることをどんどん実行します。



※福岡市は
オブザーバーとして参画

私たちはこれからも、その時々まちや市民のニーズと向き合い、課題を解決したり可能性を広げたりすることを目指して
施策の実施を進めてまいります。

進捗のご報告

1 福岡大学附属大濠中学校と協働したキャリア教育の取組

社会課題解決型PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)へ発展した職場訪問

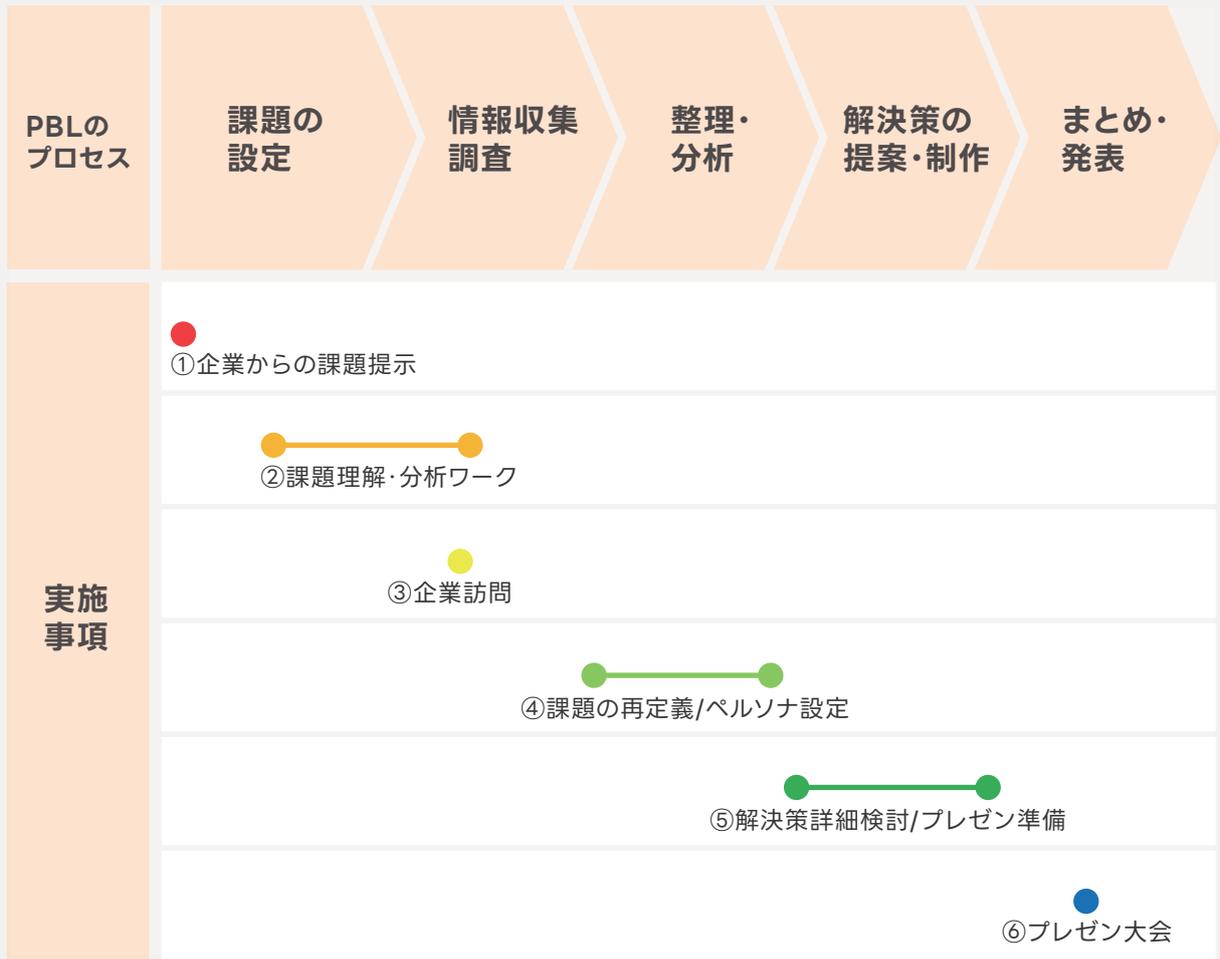
概要

本取組は2022年度に、福岡大学附属大濠中学校の2年生に向けたキャリア教育の一環として「1日完結型の職場訪問」を通じた社会体験の機会を提供することからスタートしました。その後、実施を重ねる中で「より探究的で主体的な学びを実現したい」との学校側の要望と、Fukuoka Smart City Communityによる次世代教育への貢献意欲が合致し、本年度からは「社会課題解決型PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)」へと発展。生徒168名が、各企業から提示された課題にグループで取り組み、企業社員メンターの伴走を受けながら解決策を提案する形式に進化しました。これにより、学校と地場企業が協働し、地域に根差した実践的な探究学習を実現しています。



▲福岡大学附属大濠中学校

PBLの流れ



PBLの流れ

① 企業からの課題提示 (2025年4月)

企業担当者が学校へ赴き生徒へ課題を提示、生徒は自身が取り組む課題を選択

FSC会員企業7社の担当者が学校へ訪問し、2年生約160名に対して企業紹介と課題提示を実施。これを受けて生徒たちは、金融・交通・エネルギー・ITなど多様な業種の中から自身の関心に応じて企業を選択し、どの課題を解決するかを決定しました。

生徒の感想(抜粋)

- ▶ ほぼ全部の会社が、本業ではない事業をしていて、驚いた。身近にあるものも沢山あって、びっくりした。
- ▶ 1年生の総合の時は、台本やスライドばかり見てプレゼンしてたので、次プレゼンの機会があれば、聞き手の方を気にして、臨機応変に対応していきたいです。
- ▶ 7個の企業の説明を社員の人に直接プレゼンしてもらえることはあまりないと思うのでどこに行きたいかだけでなくスライドやプレゼンの仕方も勉強できたのでよかったです。



② 課題理解・分析ワーク (2025年5月-7月)

担当企業を決定し、解決策考案のためのグループワーク開始

企業選択後、同じ課題に取り組む生徒同士で4~5人のグループが編成され、学校側主導のもと「課題理解・分析ワークショップ」が実施されました。グループワークにて課題の背景を分析し、課題の再定義(抽象度の高い課題をより具体的な課題に落とし込む作業)や自分たちに不足している知識や情報の洗い出しなどが行われました。



PBLの流れ

③ 企業訪問 (2025年8月)

現場視察や社員とのワークを通して企業と課題の理解を深める

校内でのワークを通して企業への疑問や質問が出てきたタイミングで、担当企業へ実際に生徒が足を運んで現地現物体験をする企業訪問会を開催。企業理解をさらに深めたり、課題の深掘りやペルソナ設定のヒントを見つけたりするべく、サービス提供の現場視察やサービス体験、社員とのディスカッションを実施しました。



構成	内容	目的
第1部	職場見学・体験	実際に体験をし現場を知る
第2部	ワークショップ	提示された課題のヒントを見つける



提示課題

「築50年の学校をDIYする！」



第1部	職場見学・体験	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームセンターツアー ●AIが行う商品管理を見る倉庫見学 ●お客様の統計を取り発注を決めるレジ見学など
第2部	ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ●塗装体験 ●提示課題についての質問会

PBLの流れ

JR九州

提示課題

インバウンドで世界から人が集まる博多。言語・マナー・文化摩擦を越え、皆にとって魅力的な都市を目指すための新しい仕掛けとは！



第1部	職場見学・体験	●新幹線乗務所での新幹線シミュレーター体験、在来線の運転士や車掌の業務体験
第2部	ワークショップ	●「どんな駅、どんな電車だったら地域の元気に繋がる？」地域活性化についてのワークショップの実施

西部ガスグループ

いつもの朝と、新しい明日を。

提示課題

「新規事業を考えよう！」①中学生の子どもを持つ親が喜ぶ新規事業
②福岡を盛り上げる食に関する新規事業③環境のためにゴミを減らす新規事業



第1部	職場見学・体験	●都市ガス事業について講義 ●ショールームにてガスとIHの比較実演後、調理した料理の試食、ショールーム見学
第2部	ワークショップ	●課題に関するディスカッションの実施

西日本シティ銀行

提示課題

地方のお金が都市に流れている。お金の流出を抑え、地方を活性化する方法とは？



第1部	職場見学・体験	●お金や銀行の役割とは ●札勘体験
第2部	ワークショップ	●バリュープロポジションキャンバスでアイデアを深めよう

まちに、夢を描こう。



PBLの流れ

提示課題

バス・電車以外の西鉄グループの事業を研究して、福岡の街の役に立つ
これまでにない新しい商品、サービスを考えてください



第1部

職場見学・体験

- ワン・フクオカ・ビルディング見学

第2部

ワークショップ

- 提示課題に関するディスカッション
- 社員への質問会

福岡銀行

提示課題

人口減少に左右されずに、
銀行が収益を確保するためにはどうすれば良いか？



第1部

職場見学・体験

- 銀行の仕組み説明
- 名刺交換練習と札勘体験
- 本社ビル見学

第2部

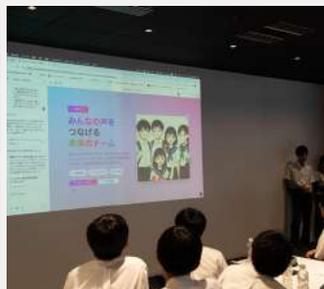
ワークショップ

- 提示課題に関するディスカッション
- 働く社員との交流

LINEヤフー
コミュニケーションズ

提示課題

まちの“届いていない声”を見つけて、LINEヤフーのサービスとAIを
掛け合わせて“届く声”に変えてみてください



第1部

職場見学・体験

- LINE公式アカウントを使った機能体験と、AI活用事例の紹介
- オフィスツアー

第2部

ワークショップ

- Figma AIを使ったランディングページの制作
- 社員と働き方、キャリアについて話す座談会

これまでのプロセスを通じて、生徒たちは現地現物確認を交えながら企業に対する理解を深め、課題の深掘りを進めてきました。後半は企業社員メンターよりフィードバックを受けながら解決策を模索し最後発表へと進みます。詳細は次回号にてお伝えします。

2 より良い福岡の未来作りのための課題抽出・検討ワークショップ

2025年度上半期においては、地域全体で協力して課題解決を行う可能性を模索すべく、会員企業以外の企業関係者をゲストに招いたディスカッションを積極的に実施しました。結果としてそこから1件の教育系プロジェクトが発足、現在も活動が続いています。

■ 新制度施行を見据えた自転車の乗車マナー向上施策の検討 (FSC×チャリチャリ)

2026年4月より施行される自転車の交通反則通告制度(いわゆる「青切符」適用)をテーマに、福岡を代表するシェアサイクルサービス事業者であるチャリチャリ株式会社と自転車の安全利用を促進する啓発活動施策を検討するワークショップを実施しました。多様な業態が集まり、ユーザーとの関わり方も多岐にわたるFSCだからこそ幅広いコラボアイデアが出され、活発な議論が展開されました。

条件

- ✓ 自転車に乗る人だけではなく自動車運転者や歩行者のすべての方が前向きにマナー向上に取り組める
- ✓ FSC各社のアセットを活用する(Charichariのライドチケット配布、LINE公式アカウントの使用など)
- ✓ 複数企業が連携してキャンペーンを行う(アプリの提供やイベント会場の提供など)

ワークショップで生まれたアイデア



自転車整備士の資格を持つホームセンター社員による自転車整備講座を開催し、レクチャー動画を各社のSNS及びサイネージで幅広く発信する。



自転車の公道デビューが多い小学生の親子を対象に、楽しく交通マナーを学べるイベントを各社が持つアセット(店舗など)で実施する。



CharichariのLINE公式アカウントを活用した「自転車ライダータイプ診断」キャンペーンの実施。利用者の属性や自転車の利用目的、利用場所などをもとに違反しやすい項目がわかる仕組みで、修了クイズの正解者にはライドチケットなどのインセンティブが付与される。



▲チャリチャリ社を交えたワークの様子



▲ワークシート

■ 学校と地域社会の共創型教育を目指すプロジェクト検討 (FSC×LX DESIGN×Eduporte)

近年、学校教育と社会との間には「文化的・制度的な壁」が存在し、一部の教員にとっては気軽に外部リソースを頼ることが難しい状況が続いています。一方で、地域には教育に貢献したい企業や個人が数多く存在しています。その両者をつなぐ「共創の仕組み」をより本質的で持続可能なかたちにすべく、教育系スタートアップ2社と協働した地域教育モデルの探究プロジェクトを始動します。



「TEAM学校プロジェクト」のポイント

これまで(一方通行)

これから(学校と地域社会の「共創型」教育)

学校→企業: 社会学習や職場訪問を依頼

OR

企業→学校: 社会貢献活動として従業員等による出前授業を実施

学校と企業が同じスタートラインに立ち、社会とつながったリアルで多様な学びをゼロから共創へ!

▼TEAM学校プロジェクトについて(プレスリリース)

https://fukuoka.smartcity-community.jp/assets/pdf/release_20251117.pdf

▼"小学生向け福岡イチ受けたい授業!?"の開催について(プレスリリース)

https://fukuoka.smartcity-community.jp/assets/pdf/release_20260109.pdf

定例での活動について



※写真はイメージです

▶ 全体会議(毎月1回)

会員企業の担当者全員が一堂に会する全体会議を毎月1回実施。各社のアセットや知見を共有しながら、注力テーマに沿った企画や具体的な施策案についてディスカッションを行なっています。

▶ 「プロジェクトF」

毎月の全体会議にて、各社持ち寄りで知見を共有するプロジェクト。今回のテーマは「自由」。4～9月期には以下の企業が発表を行いました。

福岡市：福岡市の取組みについて
 LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社：LINEスグミエールのご紹介
 九州旅客鉄道株式会社：博多エリアのまちづくり
 ラエフエム国際放送株式会社(西鉄グループ)：What is LOVE FM?
 西日本鉄道株式会社：新領域事業担当者の葛藤と挑戦
 西部ガスホールディングス株式会社：新規事業PoC 産後ケアホテルについて

市民を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今において、課題解決を行うための鍵は、「0→1で何か新しいサービスを創り上げていくこと」よりも、会員企業が持つ「既存のアセットやデータを有効活用し、スピード重視でアウトプットしていくこと」であると考えています。今後もFSCでは、強固な協力体制で複雑化するまちのニーズへ丁寧に向き合い、解決策を社会実装することを通して、福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献してまいります。

〈 Fukuoka Smart City Community 概要 〉

名称／Fukuoka Smart City Community
 事務局所在地／福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル 12F
 設立日／2020年10月14日
 主な事業内容／市民参加型のスマートシティの実現に向けた、情報収集、情報共有、相談、イベント開催、サービス提供・開発及びPRの機会の提供
 サイト／<https://fukuoka.smartcity-community.jp>